

タンチョウも住めるまちづくり検討協議会 第3回地域づくり専門部会 開催概要

平成30年度の取組の情報共有及び来年度以降の行動計画について検討をしました。また、新たな委員の参加が承認されました。

- ◆開催日時：平成31年2月7日(木) 19:00～20:30
- ◆開催場所：長沼町役場 3階 会議室
- ◆出席人数：19名（委員8名、報道機関・事務局等11名）



【平成30年度の地域づくり専門部会の取組状況について】

2つのWGにおいて、具体的な取組を検討・実施。

《取組内容》

- 鳥の駅マオイトーの利活用
名称の確定及び展示内容を一部リニューアル。
- タンチョウをシンボルとした商品の企画
普及啓発を目的に企画したタンチョウソフトが町内の1店舗から販売。また、町内の菓子店からタンチョウをモチーフとした羊羹が販売。
- タンチョウも住めるまちづくり ロゴマーク募集
262件の応募作品から、候補を4点に絞った後、子どもたちによる投票を行い、ロゴマーク（右図）が決定。
- 小学校・高校への出前授業
今年度より長沼中央小学校5年生が授業で本取組を学習。平成28年度から引き続き、長沼高校も授業を実施。
- 鶴居村との交流事業の実施
両地域の魅力等を学ぶため、子どもたちが体験活動を通じて交流。
- イベントの開催
 - ・バードセーバーイベント（11/23 開催）
 - ・スノーアートイベント（2/16-17 開催予定）
 - ・渡り鳥のねぐらだち観察イベント（3/24 開催予定）



【新規委員の追加について了承】

【来年度以降の取組について】

- ・今年度、検討・実施した取組の継続
- ・グリーンツーリズムとの連携（プログラム等の検討）
- ・タンチョウをモチーフとしたパンの検討
- ・タンチョウサポーター（仮称）・タンチョウレンジャーの検討
- ・舞鶴遊水地の将来的な利活用

【委員からの意見】

- ・先進地視察を行い、本取組に繋がるヒントを得たい。
- ・ロゴマークは名刺に使用するなど、積極的にアピールしたい。
- ・タンチョウソフトなど、タンチョウをモチーフにした商品は、今後も声掛けを行い、広げていきたい。
- ・取組を行うにあたっての資金や、タンチョウを守ることと産業との兼ね合いなど、悩みながら取組を実施している。

【総括】

- ・持続的な取組とするためには、事務局機能の安定化と自発的に活動できる人材の育成が求められる。
- ・先進地視察は、委員同士の繋がり強化にもつながるため、視察先を幅広く検討した上で、ぜひ、実施したい。
- ・取組にあたっての資金については、民間企業との連携やふるさと納税の活用など、様々な方法を検討するとよい。
- ・鳥の駅マオイトーは、現地での取組の核となる。本設に向けた検討を進められるとよい。
- ・ビジョンの共有が大事。そこでは観光消費を地域の所得、雇用、産業創出につなげる戦略が重要。